

# 院長室

楠岡 英雄

## 【2011 年度研究発表業績】

### A-0

Okuyama C, Nakajima K, Hatta T, Nishimura S, Kusuoka H, Yamashina A, Nishimura T. Incremental prognostic value of myocardial perfusion single photon emission computed tomography for patients with diabetes and chronic kidney disease. **Nucl Med Commun** 2011; 32(10):913-919 (2011 年 10 月)

Li TS, Cheng K, Malliaras K, Smith RR, Zhang Y, Sun B, Matsushita N, Blusztajn A, Terrovitis J, Kusuoka H, Marbán L, Marbán E. Direct comparison of different stem cell types and subpopulations reveals superior paracrine potency and myocardial repair efficacy with cardiosphere-derived cells. **J Am Coll Cardiol** 2012; 59(10):942-953 (2012 年 3 月)

### A-1

楠岡英雄: IT 化・情報機器部会 活動報告、「認定病院患者安全推進協議会平成 22 年度部会報告集」、日本医療機能評価機構認定病院患者安全推進協議会、pp.29-34, 2011 年 5 月

### A-3

阿部祝子、西村治彦、三好亮、石垣恭子、稲田紘、中島健次、中村亜紀、石垣一司、水上ちえみ、山田泰子、楠岡英雄: フィールドワーク技法を用いた電子カルテシステムの看護業務サポート状況の病棟間の比較、**医療情報学** 30(3): 139-155、2011 年 6 月

田中武志、石川澄、池内実、津久間秀彦、楠岡英雄、梅里良正、岸真司、土屋文人、大原信、高橋静子、村上典子、大道久: 医療記録の電子化は有害事象を少なくするか?—日本の現状—、**医療情報学** 30(5):261-270、2011 年 9 月

岡垣篤彦、是恒之宏、中島伸、和田晃、楠岡英雄: 記載インターフェスの改良による電子カルテの記載の質と診療内容の質の変化、**医療情報学** 31(1):37-48、2012 年 1 月

渡邊裕司、景山茂、楠岡英雄、小野俊介、斉藤和幸、磯部哲、掛江直子、栗原千絵子、作広卓哉、青木寛、辻出清和、鍋岡勇造、森下典子、鈴木千恵子、可知茂男、竹原健二、辻本好子、近藤恵美子、小森有希子: 治験に係る健康被害発生時の被験者保護と補償—実態調査を踏まえた情報提供のあり方の提言—、**臨床評価** 39(1):5-29、2011 年 7 月

### A-4

楠岡英雄: 医療機器の適性評価—METIS からの提言、**INNERVISION** 26(4):80-81、2011 年 10 月

西村恒彦、中嶋憲一、楠岡英雄、西村重敬、山科章: わが国発の心臓核医学エビデンス J-ACCESS study におけるサブ解析の成果と総括、**映像情報 MEDICAL** 44(1):86-100、2012 年 1 月

## A-5

楠岡英雄、森下典子、鈴木千恵子、可知茂男：実施医療機関の対応に関する研究、厚生労働科学研究補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「治験に係る健康被害発生時の被験者保護に関する研究」(研究代表者：渡邊祐司)平成22年度総括・分担研究報告書、pp.35-48、2011年4月

坂口大起、三浦浩之、乾礼興、宮崎宏一、谷口達典、濱野剛、小出雅雄、山戸昌樹、佐々木典子、廣岡慶治、是恒之宏、楠岡英雄、安村良男、池田義彦：乳癌に対する化学療法施行後、突然の心室細動を発症した一例、**Osaka Heart Club** 34(10):6-11、2011年4月

楠岡英雄：今後の治験推進方策と大阪治験ウェバーわが国における治験推進の展望、**大阪医薬品協会会報** 748:90-106、2011年6月

楠岡英雄、渡邊裕司：座長のまとめ、「シンポジウム14：我国における臨床試験の活性化をめざして」、**臨床薬理** 42(3):155、2011年9月

楠岡英雄、岸真司、石川澄、梅里良正、大原信、高橋静子、土屋文人、松村泰志、村上典子：病院情報システムにまつわるインシデントの分析とその対策、**医療情報学** 31 (Suppl.):47-48、2011年11月

津久間秀彦、田中武志、池内実、奥原義保、木村映善、合地明、楠岡英雄、梅里良正、岸真司、土屋文人、大原信、高橋静子、村上典子、松村泰志、大道久、石川澄：「患者安全向上」と「後利用に役立つデータ蓄積」の観点からの病院情報システムの評価、**医療情報学** 31(Suppl.):315-318、2011年11月

岡垣篤彦、是恒之宏、楠岡英雄：診療科のニーズに基づいて高度にカスタマイズした電子カルテの記載欄およびその運用状況の分析、**医療情報学** 31(Suppl.):382-385、2011年11月

田中武志、津久間秀彦、池内実、楠岡英雄、梅里良正、岸真司、土屋文人、大原信、高橋静子、村上典子、大道久、石川澄：医療情報の二次利用と医療情報技師の役割、**医療情報学** 31(Suppl.): 596-599、2011年11月

## A-6

楠岡英雄：わが国の治験の現状と今後のあり方、平成23年度第1回大阪府医師会「治験セミナー」講演抄録、大阪府医師会、pp.11-18、2011年7月

楠岡英雄：今後の治験推進方策と大阪治験ウェバーわが国における治験推進の展望、**彩都産学官連携シンポジウム講演録**、pp.2-18、2011年5月

楠岡英雄、西村恒彦、天野晃：創立50周年へのメッセージ「次のMEの50年を考える」、**生体医工学** 49(2):354-355、2011年4月

#### **B-1**

Kusuoka H. Current Situation and Challenges of Clinical Trials in Japan, Association of Clinical Research Professionals 2011 Global Conference & Exhibition, Tampa, USA, 2011 年 5 月

#### **B-2**

Yokoyama H, Kotani J, Suzuki M, Shiraki T, Matubara H, Kusuoka H. Evaluation for Predicting the Risk of In-Hospital Mortality in Patients With Acute Myocardial Infarction Using Multicenter Registry Database in Japan. Annual Scientific Conference of American Heart Association, Orlando, U.S.A., 2011 年 11 月

#### **B-3**

楠岡英雄、岸真司、石川澄、梅里良正、大原信、高橋静子、土屋文人、松村泰志、村上典子：病院情報システムにまつわるインシデントの分析とその対策、第 31 回医療情報学連合大会、鹿児島、2011 年 11 月。

楠岡英雄：被験者保護とは—治験責任医師・医療機関の立場から—、第 32 回日本臨床薬理学会年会、浜松、2011 年 12 月。

#### **B-4**

Yokoyama H, Kada A, Yonezawa K, Suzuki M, Nakamura Y, Matsubara H, Fukuda N, Kusuoka H. Prediction of the Risk of In-hospital Mortality in Patients with Acute Myocardial Infarction from Multicenter Registry Database in Japan. 第 75 回日本循環器学会、横浜、2011 年 8 月

Yokoyama H, Kada A, Yonezawa K, Suzuki M, Nakamura Y, Matsubara H, Fukuda N, Kusuoka H. Women, High Age and Onset During Evening is Strongly Associated with In-hospital Mortality in Patients with Acute Myocardial Infarction. 第 75 回日本循環器学会、横浜、2011 年 8 月

濱野剛、坂口大起、篠内和也、高島聡士、三浦弘之、乾礼興、宮崎宏一、小濱康明、北田博一、小出雅雄、廣岡慶治、是恒之宏、楠岡英雄、安村良男：ASV の血行動態と神経体液性因子に及ぼす急性効果、第 59 回心臓病学会学術集会、神戸、2011 年 9 月

小出雅雄、坂口大起、篠内和也、高島聡士、三浦弘之、乾礼興、宮崎宏一、小濱康明、濱野剛、北田博一、廣岡慶治、是恒之宏、楠岡英雄、安村良男：慢性心不全患者における胸郭内水分量モニターの臨床的意義、第 59 回心臓病学会学術集会、神戸、2011 年 9 月

妹尾正子、宇根良衛、明城光三、中島由槻、太田 肇、楠岡英雄、竹崎英一、中川義信、山下正文、林茂樹：国立病院機構施設の強毒型インフルエンザ（H5N1）の準備状況における問題点—新型インフルエンザ（H1N1）を経験しての変化、第 65 回国立病院総合医学会、岡山、2011 年 10 月

Hamano G. Miura H. Inui H. Miyazaki K. Kohama Y. Koide M. Hiooka K. Koretsune Y. Kusuoka H. Yasumura Y. A Case of Cardiac Amyloidosis that was Relieved from Severe Congestion by Tolvaptan, 日本心不全学会、鹿児島、2011 年 10 月

津久間秀彦、田中武志、池内実、奥原義保、木村映善、合地明、楠岡英雄、梅里良正、岸真司、土屋文人、大原信、高橋静子、村上典子、松村泰志、大道久、石川澄：「患者安全向上」と「後利用に役立つデータ蓄積」の観点からの病院情報システムの評価、第31回医療情報学連合大会、鹿児島、2011年11月

岡垣篤彦、是恒之宏、楠岡英雄：診療科のニーズに基づいて高度にカスタマイズした電子カルテの記載欄およびその運用状況の分析、第31回医療情報学連合大会、鹿児島、2011年11月

田中武志、津久間秀彦、池内実、楠岡英雄、梅里良正、岸真司、土屋文人、大原信、高橋静子、村上典子、大道久、石川澄：医療情報の二次利用と医療情報技師の役割、第31回医療情報学連合大会、鹿児島、2011年11月

北川智子、小野恭子、木島かおり、多和昭雄、楠岡英雄、辻本朋美、山地宏和、原輝文、青野寛之、是恒之宏：治験を効率的に進めるために考えられることー2010年度「国立病院機構近畿ブロック内治験実務担当者会議・EFPIA臨床部会意見交換会」からー、第32回日本臨床薬理学会年会、浜松、2012年12月

Yamane T, Kotani J, Yokoyama H, Kusuoka H. Incidence, Mortality and Impact of Primary PCI on Gender Difference in Acute Myocardial Infarction in Japanese: Analysis from Multicenter Database. 第76回日本循環器学会、福岡、2012年3月

Taniguchi T, Miura H, Miyazaki K, Inui H, Hamano G, Koide M, Hirooka K, Koretsune Y, Kusuoka H, Yasumura Y. Abdominal Fluid Content may be a Surrogate Measure for Fluid Accumulation in Patients with Acute Heart Failure Syndrome. 第76回日本循環器学会、福岡、2012年3月

Miyagi T, Yokoyama H, Kada A, Suzuki M, Shiraki T, Matsubara H, Sasaki T, Kusuoka H. Risk Stratification for In-hospital Mortality in Japanese Population: Data from Multicenter AMI Registry. 第76回日本循環器学会、福岡、2012年3月

Kohama Y, Takashima S, Shinouchi K, Sakaguchi T, Miura H, Miyazaki K, Inui H, Hamano G, Koide M, Hirooka K, Koretsune Y, Kusuoka H, Yasumura Y. Difference of the Effects on Cardiac Function and Neurohumoral Factors between Carvedilol and Bisoprolol in Patients with Chronic Heart Failure. 第76回日本循環器学会、福岡、2012年3月

#### **B-5**

楠岡英雄：病院管理者の立場からこれだけは言いたい、関西医療情報処理懇談会第43回例会、大阪、2011年10月

#### **B-6**

三浦弘之、乾札興、宮崎宏一、濱野剛、谷口達典、小出雅雄、山戸昌樹、佐々木典子、廣岡慶治、楠岡英雄、安村良男、是恒之宏：脳梗塞を契機に発見された左室尖部の乳頭状線維弾性腫の一例、

第 111 回日本循環器学会近畿地方会、神戸、2011 年 6 月

三浦弘之、乾礼興、宮崎宏一、小濱康明、濱野剛、小出雅雄、廣岡慶治、是恒之宏、楠岡英雄、安村良男：たこつぼ型心筋症を合併した結核性心膜炎の 1 例、日本内科学会近畿支部第 195 回近畿地方会、大阪、2011 年 9 月

宮崎宏一、坂口大起、篠内和也、高島聡士、三浦弘之、乾礼興、小濱康明、濱野剛、小出雅雄、廣岡慶治、安村良男、楠岡英雄、是恒之宏：AIT により心不全治療に難渋し、塩類喪失生腎症も合併した拡張型心筋症の一例、第 112 回日本循環器学会近畿地方会、京都、2011 年 11 月

三浦弘之、坂口大起、高島聡士、篠内和也、宮崎宏一、乾礼興、濱野剛、小濱康明、小出雅雄、廣岡慶治、楠岡英雄、安村良男、是恒之宏、奥村啓之、植田初江：複視を伴う心筋炎の一例、第 112 回日本循環器学会近畿地方会、京都、2011 年 11 月

## **B-7**

楠岡英雄：国立病院機構における臨床研究基盤の整備状況と今後の課題に関する調査研究、NHO ネットワーク研究経営管理班、松山、2011 年 7 月

楠岡英雄：拠点病院における取り組みと今後について、R&D HEAD Club 突出した新薬開発国になるための日本の治験環境を考えるワークショップ、東京、2012 年 3 月

## **B-8**

楠岡英雄：IRB と IRB 委員の役割、厚生労働省主催治験・臨床研究倫理審査委員研修、東京、2011 年 5 月

楠岡英雄：CRC への期待（実施医療機関の長の立場から）、国立病院機構平成 23 年度初級者臨床研究コーディネーター養成研修、東京、2011 年 6 月

楠岡英雄：病院情報システムと患者安全－医療機能評価機構認定病院患者安全推進協議会の活動から－、平成 23 年度国公立大学附属病院医療安全セミナー、大阪、2011 年 6 月

楠岡英雄：わが国の治験の現状と今後のあり方、第 24 回大阪府医師会治験セミナー、大阪、2011 年 7 月

楠岡英雄：これからの治験－治験ネットワーク化の意義、大阪共同治験ネットワーク、大阪、2011 年 8 月

楠岡英雄：大阪大学臨床医工学・情報学スキルアップ講座、大阪大学臨床医工学融合研究教育センター、大阪、2011 年 8 月

楠岡英雄：心電図 整脈編、大阪大学大学院医学系研究科講義、大阪、2011 年 8 月

楠岡英雄：これからの治験－治験ネットワーク化の意義、大阪共同治験ネットワーク、大阪、2011年10月

楠岡英雄：治験・臨床研究倫理審査委員会と委員の役割、平成23年度治験および臨床研究倫理審査委員に関する研修（国立病院機構）、東京、2011年12月

楠岡英雄：今後の治験の方向について、彩都産官学連携シンポジウム、大阪、2012年1月

楠岡英雄：今後の治験・臨床研究の方向について、大阪府立成人病センター 治験・臨床研究研修会、大阪、2012年2月

楠岡英雄：治験実施医療機関・治験実施医療機関の長の役割とCRCへの期待、大阪府Lフェニックス事業、大阪、2012年3月

楠岡英雄：平成23年度 IT化・情報機器部会の活動、認定病院患者安全推進協議会、東京、2012年3月